



第59回通常総代会を開催しました。

6月13日(火)、第59回通常総代会を開催し、第1号から第7号までの全ての議案が賛成多数で可決されました。

- **総代会**とは、
- 生協の運営に関わる重要事項を決定する、最高の**意思決定機関**です。
- 毎年6月に開催され、組合員の代表である「総代」が参加し、京都生協の1年間の予算や活動方針、役員の選出などについて確認します。
- 総代509人中84人が出席(書面による出席369人を含む)しました。
- 今総代会では、226件の「私の想い(発言用紙)」が寄せられました。
- 総代会の開催にあたり、京都府知事 西脇隆俊様、京都市長 門川大作様から祝電をいただきました。

2022年度 取り組んだこと ～特徴的な取り組み～

宅配

- 「くらし応援全国キャンペーン」の取り組みで、期間中の値下げを行うなど、組合員の暮らし応援を続けました。
- 新しく加入した組合員の利用定着を目的に、ウェルカムキャンペーンに取り組みました。



店舗

- 6月にコープさかの店がリニューアルオープンしました。冷凍商品の充実や総菜コーナーの利便性を向上させました。
- コープ二条駅店は建て替えのため、6月20日に一時閉店しました。2023年秋頃の開店に向け、地域の期待に応えるお店づくりを目指します。



エシカル消費の推進 ● 宅配・店舗ともにエシカルな商品の普及を進めました。

安心して暮らせる地域社会づくり

- 移動店舗「おかいもの便」は3号車を導入し、コープ二条駅店閉店中の利用者フォローを行いました。
- コープきぬがさ・にしがも・いわくら店で新たにフードドライブをスタートし、実施店舗を16店舗に広げました(改装休業中のコープ二条駅店を含む)。



KYOTO COOP アプリ ● スマートレシート機能の追加や、店舗・宅配で使えるアプリ限定のクーポン配信を行いました。

第59回通常総代会を迎えるにあたって



理事長 畑 忠男

第59回総代会にあたり、日頃から京都生協の事業や活動にご参加いただいております組合員の皆さまに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は5月より、感染症法上の分類が5類になりました。3年間のコロナ禍は私たちの暮らしに大きな影響を与えました。オンラインでのコミュニケーションが身近なものになり、また非接触が求められ、キャッシュレスの普及も進みました。半面、オンラインでは伝わらない人と人のつながりの大切さも再認識できたのではないかと思います。

世界に目を向けると、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は長期化の様相を呈しています。ウクライナの人々に1日も早く平穏な暮らしが戻ることを強く願います。また米中対立をはじめ、国際的な分断や軍備増強が進んでおり、日本でも防衛費増額の議論が進んでいます。軍事ではなく、国際協力の中でさまざまな問題解決が図られることが必要です。

2015年の国連総会で採択されたSDGsは、今や社会の共通言語となりました。SDGsの理念である「持続可能な社会の実現」「誰一人取り残さない」は、協同組合の理念とも重なります。物価高騰が続く、私たちの家計への負担も大きくなっていますが、京都生協は2023年度も、協同の力で暮らしをより良く、より豊かにしたいと考えます。

国内外に課題が山積していますが、未来に向けて明るい希望を共につくっていきましょう。京都生協は組合員の皆さまの毎日の暮らしを全力で支えていきます。

2023年度 取り組むこと

宅配

- 商品力と提案力を高め、節約意識に応える内食の提案や簡便手作り、総菜、冷凍商材の提案を行い、利用につなげます。

店舗

- 既存店の予算達成と、新コープ二条駅店のリニューアル成功を目指します。
- 引き続き、エシカルな商品の普及を促進し、ミールキットなど簡便商品の品ぞろえを増やします。



コープ二条駅店完成イメージ図

社会的な役割

- エシカル消費の取り組みを、行政・他団体とも連携しながら、さらに前進させます。
- 店舗でのフードドライブ実施の拡大や、食品リサイクル率の向上のための施策に取り組みます。
- 学習会や募金活動など、平和・国際貢献の取り組みを進めます。

今総代会には226件の発言用紙が寄せられ、5人の総代が壇上で発言しました



まとめ報告(要旨)

「私の想い」として寄せられた組合員の声に応えて

専務理事 高倉 通孝

1「宅配について」

店舗から宅配のご利用へ変更され、最初は注文に戸惑いながらも今では便利に楽しくご利用いただいている様子が伝わってきました。この間組合員の暮らしの変化や願いに添える商品やサービスを提供することを大切に取り組みできています。「感謝しています」という声をいただき、率直にうれしく思います。宅配のカタログでは幅広い年代の方に支持していただける紙面づくりを追求しています。子育て世代の方に支持される「商品企画」や「打ち出し方」などにも積極的にチャレンジしながら、シニア世代の方にもしっかりと利用いただける紙面になるように努力していきます。

2「コープ二条駅店の新規オープンについて」

改装休業中のコープ二条駅店ではご不便をおかけしていただきますが、オープンを楽しみにしているという期待の声をいただきました。昨年閉店前は約1万人の組合員の皆さまが来店されてきました。閉店後は6000人ほどの方が生協の利用を中断されています。今まで来られていなかった層の方も含めて、多くの方に「来店いただけるようなお店を作りたい」と考えています。

店舗のローガンは「安心して利用でき、お手軽で楽しい365日貢献できるお店」。必要な商品がいつでも買えるという安心感や、楽しくワクワクするような感動、新しい発見があるお店を目指しています。「バラ売り、量り売り」などははじめ、SDGsを意識した売り場を計画しています。秋のオープンに向け、生協ならではの品ぞろえでご期待に添えるよう準備をしていますので、その成果を見せたいと考えています。

3「基本を忘れずに」

組合員として生協に何を求めているのか考えた時、それは「食の安全・安心」ではないかというご意見です。組合員の大切な願いとしてしっかりと受け止めてまいります。「食」は人が生きていく上で絶対に必要なものであり、毎日口にするものです。食の安全性の確保も必要不可欠です。生協では最新の科学的知見に基づいた独自の安全基準を持ち、商品検査、産地点検など安全を担保する取り組みを日々行っています。そして約束通り安全な商品が製造されていることをしっかりと確認しています。こうした活動をより分かりやすく伝えることが安心につながりますので、商品案内やチラシ、ホームページなどを活用して情報提供いたします。また食品添加物や新しい技術における「食の安全」について不安に感じられている方が少なくないのも事実です。学習会や情報提供を通じ、組合員が商品の選択や判断ができるように努めていきます。食の安全についての学習をさらに広げていきたいと思います。

4「やっと出会えました」

今年2月のコープファンミーティングについてです。規模を縮小してオンラインと実参加のハイブリット開催となりました。メンバーさんとじっくりと交流でき、うれしい時間だったとの評価をいただきました。京都生協の産直では「生産者と組合員が交流の中で信頼を築き、生産・流通・消費のあり方について協議することで商品力を引き上げる関係性を築きます」ということを大切にしています。うれしい時間と感じていただけたような交流機会を増やしていけたらと思います。リアル・オンラインそれぞれの良さを生かした取り組みを今後も行っていきたいと思います。

5「総代は生協学校の生徒。今年卒業します」

長きにわたる組合員の代表である総代として、京都生協の事業や活動にご尽力いただきましたことに敬意を表します。生協は消費者一人ひとりがお金を出し合って組合員となり、協同で運営・利用する組織です。組合員は事業や活動の方向性を決める主人公です。この原則を私自身、組合員と一緒に活動することで学ばせていただきました。小林さんをはじめ、たくさんの方の組合員のご利用と活動参加があつて今日の生協があることに改めて感謝し、未来につなげてまいります。京都生協は創立から58年が経過し、大きな組織となりました。より一層、組合員と役員がしっかりとコミュニケーションを図り、心を合わせて、普段の暮らしに役立つ生協となるよう努力していききたいと思います。

全体を通して

2022年度は皆さまの利用のおかげで、供給高、経常剰余金の予算ともに達成することができました。改めて感謝申し上げます。2023年度4〜6月の滑り出しは、ほぼ計画に近い数値で推移しているといえます。しかし細かく見ていきますと、宅配店舗事業ともに、利用いただく組合員の人数、商品の品数ともに十分には伸びておらず、課題も明確になってきています。夏に向けて、しっかりと対応していきたく考えています。

3年にわたるコロナ禍やウクライナでの戦争の影響によって消費者物価や企業物価の高騰が続き、私たちの暮らしを取り巻く環境は厳しさを増しています。「頼もしい隣人たらん」の精神で、組合員の輪をさらに広げ、職員として関係する全ての皆さんと力を合わせる時です。

2023年度の京都生協では食の安全・安心をベースにして、暮らしの変化や組合員の願いに応えた商品・サービスの提供、脱炭素、プラスチック問題や食品ロス削減の課題も含めてSDGs達成への貢献、デジタルシフト推進、採用や人材育成の強化、広報活動強化を重点課題として取り組めます。希望ある未来に向けて役割を發揮していくことを決意するとともに、そういった社会を一緒に作っていくことをお願いいたします。「まとめの報告」とさせていただきます。よろしく

お願いいたします。

第59～60期

新役員が決まりました

地域区選出理事

北ブロック 東ブロック 西ブロック 南ブロック 両丹ブロック



塩見 由紀子 吉岡 恵 川上 麻夕美 林 美和 大槻 知美



山本 吏美 辰己 裕子 下田 唯 平石 信子 岡田 玲子

全域区選出理事



理事長 畑 忠男 副理事長 洞井 加奈子 副理事長 姜 美名 専務理事 高倉 通孝 常務理事 吉岡 克巳 常務理事 大川 洋



有識 宮本 茂樹 有識 上里 美登利 有識 風折 昌樹 有識 鎌谷 勇宏 有識 熊谷 知子

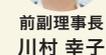
監事



常勤 河野 直 有識 飯島 敬子 有識 神本 満男 有識 北川 太一 有識 川瀬 和栄 有識 吉田 美由

退任のあいさつ

通常総代会では、総代の皆さんから「私の想い集」をはじめ、生協への期待の声をいただき、心より感謝申し上げます。生協は事業活動を通して願いをかなえる組織ですが、そのためには皆さんの声が重要となってきます。声が生協に届き、改善され、より利用しやすい生協になっていくのです。どうぞ声の循環で持続可能な未来、私たちの暮らしや地域社会の環境がより良いものになるようつなげていってください。京都生協に関わる全ての人は頼もしい隣人です。ありがとうございました。



前副理事長 川村 幸子

議案採決結果

総代出席状況

本人出席 84 委任状 0 書面出席 369 合計 453 (採決数は議長2人を除く)

議案	反対	保留	賛成
第1号 2022年度 事業報告、決算関係書類承認の件	3	6	多数
第2号 2023年度 事業計画および予算決定の件	6	9	多数
第3号 定款の一部改定の件	0	4	多数

議案	反対	保留	賛成
第4号 監事監査規則の一部改定の件	0	4	多数
第5号 第59～60期 役員選任の件	3	11	多数
第6号 役員報酬決定の件	7	27	多数
第7号 役員退任に伴う退職金支給の件	6	27	多数

2022年度 事業の到達

■総事業高 833億7399万円 (予算差+3億6999万円)

供給高	実績	予算差	前年差
宅配事業	586億7644万円	+9億3744万円	△5億3265万円
店舗事業	217億7698万円	△9101万円	△44億760万円
葬祭事業	9291万円	+91万円	+522万円
供給事業計	805億4635万円	+8億4735万円	△49億3503万円

・福祉事業収入：4億3373万円 (予算差△3326万円)
 ・その他事業収入※：23億9390万円 (予算差△4億4409万円)
 ※受託共済手数料や葬祭承り手数料、個配手数料などの収入

2022年度経営結果

経常剰余金	15億8773万円
特別利益	4645万円
特別損失	2億5175万円
税引前当期剰余金	13億8243万円

法人税等	4億848万円
法人税等調整額	702万円

当期剰余金	9億6692万円
前期繰越剰余金	9682万円
システム最適化積立金取崩額	2億2700万円

新型コロナウイルス感染症等災害対応・支援貢献積立金取崩額	100万円
人材育成積立金取崩額	800万円
社会貢献活動積立金取崩額	200万円
当期末処分剰余金	13億174万円

経常剰余金

15億8773万円 (予算差+3億5273万円)

※事業経常剰余金から事業経費を差し引き、事業外収支を加算した金額。通常の事業活動をして最後に残った利益です。

2022年度剰余金処分

法定準備金	9700万円
出資配当金	8917万円
任意積立金	8億6900万円
次期繰越剰余金	2億4657万円

出資配当率 0.50%

2022年度の出資金に対する配当を年0.50% (税引き後0.3984%) とすることを決定しました。本事業年度末(2023年3月20日)に出資金残高を有する組合員で、かつ、本総代会当日に在籍している組合員に対して配当します。